

しんねん ちゃかい

新年お茶会

ねん がつ にち どのび
2020年1月18日(土曜日)

じつよう にほんご がくしゅうかい しんねん ちゃかい わしつ ごうしつ
実用日本語学習会の新年お茶会が、クリエイトセンターの和室と204号室で
ごぜん じはん じす ひら きんかしゃ がくしゅうしゃ ゆうじん かぞく ふく
午前10時半より午後3時過ぎまで開かれました。参加者は学習者とその友人家族を含め
めい しえんしゃ めい ちゃ てまえ せんせい めい がっき えんそうかんけい かた めい くわ
て22名、支援者は36名でした。お茶のお点前の先生3名、楽器演奏関係の方6名を加え
て60名を超える人数となりました。



ごぜん がくしゅうしゃ ちゅうしん ほん わ ちゃ
午前は学習者を中心に4班に分かれてお茶の
てまえ おこな どうじ わしつ ごうしつ
お点前が行われると同時に、和室と204号室で
でんとうあそ おこな ちゅうしよく わふう おり
伝統遊びが行われました。昼食は和風の折の
べんとう た ごご たの かい ひら
弁当を食べ、午後はお楽しみ会が開かれました。

さどう にほん だいひょうてき ぶんか いっぽんてき にほんじん きかい
茶道は日本の代表的な文化となっていますが、一般的な日本人もなかなかする機会が
すく なか がいこく かた きょう み しんしん い
少ない中、外国の方にとっては興味深々と言ったところでしょうか。みんなちゃんと
せいざ せいざ いんしやうてき でんとうてき あそ ひやくにんいっしゆ
正座されていたのが印象的でした。伝統的な遊びは、いろはがるた・百人一首・
かみふうせん ふくわら だるま お だま てだま はね ねんばい にほんじん なつ
紙風船・福笑い・達磨落とし・けん玉・お手玉・羽根つきなど、年配日本人にとって懐か
しい遊びばかりでした。学習者にとっては珍しいものばかりのようなものでしたが、み
んな楽しんで大盛り上がりでした。

ごご たの かい しえんしゃ
午後のお楽しみ会は支援者とそのお
ともだち つがる じゃみせん
友達による津軽三味線やリコーダーの
えんそう ふうせん がくしゅうしゃ
演奏や風船アートがあり、学習者と
しえんしゃ さんか たの とき
支援者も参加して楽しいひと時でした。
あと こうれい おこな
その後、恒例のビンゴゲームが行われ
ました。デジタルビンゴソフトがうまく
さどう ひとまく
作動しない一幕もありましたが、みんな
じぶん うん いっかいちゆう
自分の運に一喜一憂でした。

